

個人株主の皆さまにお届けする情報誌

# NYK

## plus

NYK プラス  
2018 Autumn

Vol.  
24

**[特集]** 世界初のLNG燃料供給船が活躍  
環境にやさしい燃料、供給事業で普及後押し





# タンカー事故の教訓を未来に 大規模安全運航キャンペーン

1997年7月に発生した大型原油タンカー「ダイヤモンドグレース」の東京湾中ノ瀬での原油流出事故を教訓に、当社は「Remember Naka-no-Se (中ノ瀬事故を忘れるな)」と銘打ち、安全運航キャンペーンを毎年7～8月に行っています。今年は、同事故から20年以上が経過したことを踏まえ、その教訓を風化させないよう、例年以上に大規模な安全運航キャンペーンを展開。海事関係者と過去を振り返る安全シンポジウムのほか、当社運航船の保有会社（船主）・管理会社を対象とした安全推進会議、重大事故が万が一起こった場合を想定した対応訓練、船長・機関長による安全運航に関する懇談会などを行いました。安全推進会議は、当社本社と愛媛県今治市で計3回開催し、国内外の90社から173人が出席しました。

また「日本郵船グループ最大の危機 中ノ瀬原油流出事故」と題した安全推進ビデオを制作し、同事故を関係者の証言も交えて振り返るとともに、内藤忠顕社長

のグループ全社員に向けてのメッセージを収録。ステークホルダーの皆様に向けては「安全文化の醸成」と題したビデオを制作し、インターネット上で公開しています（7分39秒、[http://www.nykwebcasting.com/profile/video/09\\_jpn.htm](http://www.nykwebcasting.com/profile/video/09_jpn.htm)）。

ビデオの制作に当たった海務グループの本元謙司安全チーム長（船長）は「同事故後の20年間、さまざまな安全推進活動を続けてきましたが、当時を知る社員が減りつつあります。この事故を契機に続けてきた当社の安全文化を、今後も継承していきたいという使命感をもって制作しました」と語りました。

## 2018年「Remember Naka-no-Se」キャンペーンで行った活動

7月 2日	海事関係者と過去を振り返る安全シンポジウム
7月 3日	船主・船舶管理会社を対象とした安全推進活動のコンペティション
7月 4、9日	船主と船舶管理会社向けの安全推進会議
8月 1日	重大事故対応訓練
8月 23日	船長・機関長による安全運航に関する懇談会



上／本社15階に設置した安全意識向上のための特大パネル

右／船内で乗組員と意見交換する内藤社長（右側中央）



# 世界初のLNG燃料供給船が活躍 環境にやさしい燃料、供給事業で普及後押し

船舶で貨物を運ぶためにはエンジンを動かす環境にやさしい新たな燃料として注目されている船で供給する事業にいち早く注目し、2017 LNG燃料の供給網を日本を含む世界に広げて

料が欠かせません。一般的な船舶用燃料は重油ですが、のが「液化天然ガス (LNG)」です。当社はこのLNGを専用に参入しました。現在、欧州で事業展開していますが、



自動車船に横づけしてLNG燃料を供給する「ENGIE Zeebrugge」

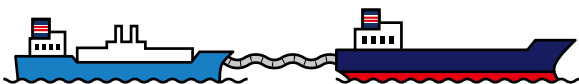
2017年5月、当社が三菱商事(株)、フランスのエネルギー企業アンジー、ベルギーのフラクシーズと共に保有する船「ENGIE Zeebrugge」がベルギーのゼーブルージュ港で稼働しました。この船は貨物を運ぶ一般的な船とは異なります。船舶に燃料としてのLNGを供給する船。当社が韓国の韓進重工業に発注し、世界初のLNG燃料供給船として誕生しました。

船舶の燃料の主役はこれまで重油でしたが、これから先、大きな変化が見込まれます。海運に関する国際的な規制を設定する国連の専門機関、国際海事機関 (IMO) は2020年から大気

汚染につながる硫黄酸化物 (SOx) の排出を減らすために船舶への規制を強化します。これにより、硫黄分の少ない燃料の使用が進むことになります。

この規制に対応するための方策はいくつかありますが、その一つが燃料としてLNGを用いることです。LNGは硫黄分をほぼ含まず、さらには窒素酸化物 (NOx) や二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の排出も減らせる、化石燃料の中では環境にやさしい燃料です。当社グループはLNGを燃料として使用できるLNG燃料船を就航させていますが、同時にこれらの船に燃料を供給するためのインフラ作りも進めています。





船からの燃料補給は、大量の燃料を効率よく積み込むことができます

荷の一部を燃料として  
 発注済みの数。積み  
 あります（就航船と  
 料船が250隻ほど  
 世界にはLNG燃

備です。  
 一つが供給拠点網の整  
 備です。  
 一つが供給拠点網の整  
 備です。

### 環境への貢献と 事業拡大

るでしょう。

「欧州での事業を通じて得た知見を  
 活かして、世界でLNG燃料供給事  
 料船の普及を後押しするでしょう。」

燃料タンクが小さい小型船はタンク  
 ローリーなどによって陸上から供給  
 を受けることができますが、大型船  
 に大量の燃料を効率よく積み込むに  
 はLNG燃料供給船が威力を発揮し  
 ます。船からのLNG燃料供給体制  
 が整えば、大型船を含めてLNG燃

使用できるLNG船除く。その船  
 種は多岐にわたります。現時点では  
 フェリーなど小型船が多いですが、  
 大型のコンテナ船、タンカー、バル  
 カーなどでも採用され始めました。  
 燃料タンクが小さい小型船はタンク  
 ローリーなどによって陸上から供給  
 を受けることができますが、大型船  
 に大量の燃料を効率よく積み込むに  
 はLNG燃料供給船が威力を発揮し  
 ます。船からのLNG燃料供給体制  
 が整えば、大型船を含めてLNG燃

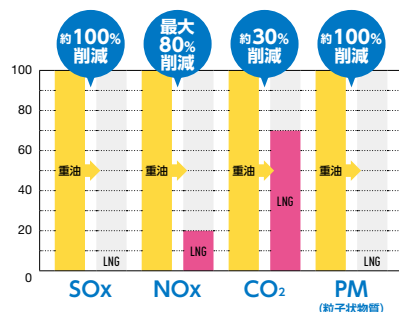
にLNG燃料供給事業の検討を始め  
 力株)、西部ガス株)、中国電力株)と共  
 の他、九州・瀬戸内地区でも九州電  
 注するなど準備を進めています。こ  
 NG燃料供給船を川崎重工業株)に発  
 豊田通商株)と共同で行うもので、L  
 年以降にLNG燃料供給事業を開始  
 します。川崎汽船株)、中部電力株)、  
 NG燃料供給船を川崎重工業株)に発  
 注するなど準備を進めています。こ  
 の他、九州・瀬戸内地区でも九州電

料を供給していますが、2020年  
 からはノルウェーのエネルギー企業  
 エイノールのタンカー4隻向けへ  
 の販売も決まっており、この他にも  
 顧客開拓を積極的に進めています。  
 当社はLNG船事業を通じてLNG  
 Gの取り扱いを熟知していますが、  
 燃料供給は初めてで、実際にやって  
 みて見えてくる難しさもあります。  
 例えば停泊中の限られた時間内に、  
 安全対策を講じながら、いかに迅速  
 に燃料供給を行うか。そこで力を発  
 揮するのは当社の技術者です。NY  
 Kグループ・バリュー「誠意・創意・  
 熱意(3iS)」が表れた事業と言え

業を展開していきたいです」と篠崎  
 宏次燃料グループ長は語ります。船  
 は世界中を走り回るので、燃料の供  
 給拠点は各地に必要です。既に欧州  
 以外でも事業の具体化に着手しまし  
 た。それは日本です。  
 名古屋港など中部地区で2020  
 年以降にLNG燃料供給事業を開始  
 します。川崎汽船株)、中部電力株)、  
 豊田通商株)と共同で行うもので、L  
 NG燃料供給船を川崎重工業株)に発  
 注するなど準備を進めています。こ  
 の他、九州・瀬戸内地区でも九州電  
 力株)、西部ガス株)、中国電力株)と共  
 にLNG燃料供給事業の検討を始め

当社にとってLNG燃料供給は新  
 たな事業分野です。船というハード  
 を用いた貨物輸送にとどまらず、海  
 運以外の新たな領域へと事業の幅を  
 広げる中で、エネルギーバリューチ

重油とLNG燃料の比較  
(重油を100とした場合)



重油と比べてLNG燃料は硫黄分(SOx)をほとんど含まず、環境にやさしい燃料です

エーンの上流から下流まで、あらゆる段階に展開していくことを基本戦略としています。天然ガス・LNG関連では、上流ではLNG開発事業、中流では天然ガスの液化事業にも参画しました。LNG燃料の供給事業は下流に位置付けられるものです。  
 当社は三菱商事株)、アンジーとGasSea(ガス・フォー・シー)という名称でLNG燃料供給・販売事業を行っています。現在、「ENGINE Neoburgel」を用いて、欧州で当社グループのユニテッド・ヨーロッパ・カーキャリアーズ(U.E.C.C.)が運航する自動車船2隻にLNG燃

料を供給していますが、2020年からはノルウェーのエネルギー企業エイノールのタンカー4隻向けへの販売も決まっており、この他にも顧客開拓を積極的に進めています。  
 当社はLNG船事業を通じてLNGGの取り扱いを熟知していますが、燃料供給は初めてで、実際にやってみて見えてくる難しさもあります。例えば停泊中の限られた時間内に、安全対策を講じながら、いかに迅速に燃料供給を行うか。そこで力を発揮するのは当社の技術者です。NYKグループ・バリュー「誠意・創意・熱意(3iS)」が表れた事業と言え

困難に立ち向かう姿勢を大切に、  
ビジネス戦闘力を高めていきたい



不定期船グループ パナマックスチーム

豊城 雄太さん



中部地区で就航予定のLNG燃料供給船(イメージ画像)

ました。また、欧州と並ぶ船舶燃料の一大供給地であるシンガポールをはじめ、さらなる世界展開の可能性も探ります。

LNG燃料普及のもう一つの鍵は燃料の価格差です。LNG燃料船の建造価格は通常の船と比べて15〜20%ほど高くなると言われます。超低温のLNGを保管する燃料タンクや配管、LNG用のエンジンシステムなど、特別な設備が要るからです。2020年以降に使用される硫黄分の少ない燃料油と比べて、LNGは価格優位性があると見られますが、その価格差が大きいほどLNG燃料

船の投資回収が早く進むので、海運会社の建造意欲が高まります。LNGの供給者も巻き込んで、価格競争力のあるLNG燃料を供給できるようにしていく必要があります。

当社自身、LNG燃料船として東京湾にタグボート、欧州に自動車船を就航させました。LNG燃料船のさらなる建造についても、荷主の理解を得ながら進めていきたいと考えています。

地球環境への貢献とLNG燃料供給事業の拡大のため、今後もLNG燃料の普及に向けた取り組みを推進していきます。

「ビジネスパーソンとしての戦闘力を高める」ことを意識していますが、テニスプレーヤーとしての戦闘力は残念ながら弱まる一方で」



担当業務の一つはパナマックス・バルカーのチャーターリング。「高圧的な態度に出る人やロジカルな人など、交渉相手もさまざまです」



休日は所属するテニス班の活動でリフレッシュ。「当社は社員数に対してテニス人口が多く、コートは大いに盛り上がっています」



### ■パナマックス・バルカー

鉄鉱石や石炭、穀物、セメント、塩、銅精鉱などのさまざまな資源を、梱包せずに大量に輸送する船がバルカー（バルクキャリア）。大きさの順に、ケーブサイズ、パナマックス、ハンディマックス、ハンディサイズと大きく四つに分類されます。「パナマックス・バルカー」は7万～10万トン超程度の貨物を積載できる中型バルカーで、主に石炭や穀物の輸送に従事します。



とよま ゆうた  
豊城 雄太さん

2014年に日本郵船入社。自動車物流グループで主に中国エリアを担当後、自動車船グループで三国間航路の運航業務などに携わる。2018年4月から新設の不定期船グループでパナマックスチームに着任。「新しい組織でマネージャー・若手が立場に関係なく率直に議論し、自由闊達な雰囲気の中で仕事ができるのは、やりがいの一つです」

各部署の良いところを吸収し、ベストプラクティスの展開を

◆ 今の業務の内容と面白みを教えてください。

4月に新設された不定期船グループで、石炭や穀物などを運ぶパナマックス・バルカーの配船とチャーターリングを主に担当しています。前者は貨物に船を割り当てる仕事で、後者は船を貸し借りする仕事です。チャーターリングは、いくらで貸し借りするかで会社の採算にインパクトがあり、つい熱が入ります。交渉相手の中には、わざと感情的になって有利な条件を引き出すととする人もいたり、駆け引きが非常に面白いですね。

◆ お仕事をされる上でモットーは。

「ビジネスパーソンとしての『戦闘力』を常に高めていけるような、仕事のやり方を意識しています。その意識は、これまで出会った先輩の姿勢から学びました。例えばゲームで戦闘力を高めるには、強い敵と戦うのが近道。仕事も同じで、目の前の業務以外にも自分から積極的に手を伸ばし、問題意識を持って困難に立ち向かっていく。仕事を与えられるのを待つより、このスタイルの方が面白く働けて、自分に合っていると思います。」

◆ 日本郵船の社内の雰囲気はいかがですか。

私はこの会社がとても好きです。海外勤務を経験されている方が多いからか、日本的な堅苦しさが良い意味で取り除かれた自由な雰囲気があり、若手の意見でも良いものは尊重しよう、という文化があります。また、社員を大事にする会社だな、とも感じています。入社5年目になり、社員の顔と名前もほぼ一致してきました。働きやすい環境だと日々思っています。

◆ 海外勤務にも興味はありますか。

海外に行きたいという思いは強く持っています。日本の経済規模は大きいですが、一つの国に過ぎません。そこにずっとどまるのもつたいないと思います。いろいろな文化がある中で、日本での困難と他国での困難は違わず、見たことのない困難を海外で経験し、成長したいと考えています。

◆ 今後の目標を教えてください。

各部署の良い部分を異動のたびに吸収し、それをベストプラクティスとしてさまざまな部署に展開することで、仕事のやり方を猛然と改善していく。そんな先輩の後ろ姿を見てきたので、私もそれを見習い、自分の中で印象に残る仕事を成し遂げたいです。



## 外航海運初のグリーンボンド発行

当社は外航海運業界における世界初のグリーンボンド（環境債）を5月24日に発行しました。クー、パラストの移動を防ぐに充てる予定

運業界における世界初のグリーンボンド（環境債）を5月24日に発行しました。クリーンなLNGを燃料とする船舶や、船舶の排気浄化装置（スクラバ水（船体を安定させるために船底タンクに取り込む海水）による生物処理装置など、当社の環境対応船技術ロードマップで計画する投資です。

## 環境投資への積極的な取り組み発信

当社は第40回無担保社債100億円をグリーンボンドとして発行しました。

グリーンボンドは、環境改善効果のある事業に用途を限定して資金調達する債券です。2015年の国連気候変動枠組条約（パリ協定）の採択以降、環境保全意識が高まり、機関投資家などがSR（社会的責任投資）の方針に基づいて投資する傾向が強まっています。そのような中で、当社が設備投資資金の調達先の多様化を図ることのみならず、当社の環境投資への積極的な取り組みを広く知っていただくことも目的に据えて発行を決めたのが、今回のグリーンボンドです。

す。ブルームバーグL.P.と野村證券(株)が5月25日に東京、7月26日に大阪で開催した「グリーンボンドの新たな潮流」と題したセミナーで当社の取り組みを紹介。6月27日には環境省で行われた「第1回企業版2℃目標フォーラム」で講演し、グリーンボンド発行の意義や当社の温室効果ガス排出削減目標を紹介しました。さらに、国際NGO（CBI）(Climate Bonds Initiative) が今後設置するワーキンググループにも参加し、外航海運事業者が発行するグリーンボンドの評価基

このコーナーでは、2018年度から開始した中期経営計画の「Digitalization and Green」をテーマに、最新のデジタル技術を駆使した業務の効率化やサービスの向上、環境分野における新たな取り組みなどを紹介していきます。

発行に当たっては、世界有数のESG（環境・社会・ガバナンス）評価機関であるフランスのヴィジオアイリス（Vigeo Eiris）の審査を受け、適格性に関するセカンドオピニオンを取得しました。加えて、このグリーンボンドは環境省の「平成30年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例」にも選定され、同省が策定・公表する「グリーンボンドガイドライン2017年版」への適合性についても確認されるなど、公的な機関から評価を得ています。

また当社は、グリーンボンド発行を促進するための土壌作りにも取り組んでいます。

準策定に、この分野の先駆者として協力しています。



環境省の脱炭素経営フォーラムでの当社の講演

## NYKニュース

## ㈱神戸製鋼所と長期連続航海契約を締結

当社は旭海運(株)と共同で、㈱神戸製鋼所と長期連続航海による石炭輸送契約を締結しました。投入する船舶は、㈱大島造船所で2021年に竣工後、最長20年にわたり海外から主に兵庫県神戸市への石炭輸送に従事する予定です。本船は環境規制に適合する最新鋭の船舶で、船舶からのNOx(窒素酸化物)排出量を2000年比80%削減する国際規制に対応するディーゼルエンジンを搭載しています。(2018年6月)

## 自動車関連物流事業、トルコ・インドなどで拡大

当社グループは全世界で展開する自動車関連物流事業をさらに拡大・強化します。トルコのOYAKグループとイスタンブール近郊に完成車専用ターミナルを建設・運営することを決めたほか、インド有力財閥アダニ・グループと完成車鉄道輸送会社設立に合意。また、当社と当社グループの郵船口ジスティクス(株)、中国の安吉汽車物流有限公司が出資する合併会社が本格的にサービスを開始しました。(2018年4月、7月)



## 遠隔操船技術の実証事業に参加

当社と当社グループの㈱MTI、京浜ドック(株)、㈱日本海洋科学は、国土交通省が実施する「操船支援機能と遠隔からの操船等を活用した船舶の実証事業」の実施者に選定されました。2025年までの自動運航船の実用化に向けて、日本で初めての実証事業が本格的に開始されます。今年度は内航船とタグボートでデータ収集とシステム開発を行い、2019年後半にはタグボートで当システムの実証実験の実施を予定しています。

(2018年8月)

## TOTALと新造LNG船の定期用船契約を締結

当社は、フランスに本部を置く石油・ガスメジャーTOTALの子会社と新造液化天然ガス(LNG)船1隻の7年間にわたる定期用船契約を締結しました。本船は韓国の三星重工業(株)で2021年に竣工します。燃料油と航行中に貨物艙内で気化したLNGを利用する二元燃料低速ディーゼル機関を搭載。また、気化率を抑えることができる高い防熱性能のタンク方式とLNGの再液化装置を搭載することで、効率的で経済的なLNG輸送を実現します。(2018年10月)

## 海運業界ニュース

## マゼンタカラー1番船「ONE Stork」、呉で誕生



世界で最も「目立つ」コンテナ船かも知れません。当社が川崎汽船(株)、(株)商船三井と共に出資・設立し、今年4月に営業開始したコンテナ船事業統合会社「オーシャン・ネットワーク・エクスプレス(ONE)」にとって、初の新造コンテナ船となる「ONE Stork」が今年6月、ジャパンマリンユナイテッド(株)呉事業所で誕生しました。その特徴はなんといっても、船体に塗装されたONEのシンボルともいうべき、鮮やかなマゼンタカラー。現在、同船はアジアと北米東岸を結ぶ航路に就航し、行く先々で人々の注目を集めています。

「ONE Stork」は全長364メートル、最大幅51メートル、載貨重量トン13万9500トン。コンテナ最大積載量1万4000TEUという大型コンテナ船です。もともと15隻シリーズの10番船に当たり、9番船までは当社船仕様で塗装されていましたが、ONEの事業開始後に命名された本船から、初のマゼンタ塗装が採用されました。ONEでは自社船をコーポレートカラーであるマゼンタもしくはライトグレーのどちらかで塗装するデザインを用意しており、新造船だけでなく、今後は既存船でも8000TEU以上の基幹船隊を順次再塗装していく方針です。

現在では、この「ONE Stork」に続いて姉妹船も順次就航しており、さらに一部の既存船でも塗り替えが完了しています。外観上の特徴としては、マゼンタとライトグレーの2色に塗り分けられたファンネル(煙突)部分や、船首に描かれた水平のライン、船尾のロゴなどが挙げられます。

ところで、際立つのは外見だけではありません。燃費や省エネ性能に優れるところも特徴です。主機に世界初のデュアル・レーティングシステムを搭載したことで、高速・低速いずれでも低燃費での運航が可能となり、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量も大幅に抑制。また、機関室スペースを最小に抑えたほか、船体には極厚高強度鋼板を採用することで、積載効率を高めつつ船体強度を確保するなど、環境に加えて経済性や安全面にも配慮しました。その省エネ性能は業界最高水準で、より大型の2万TEU型船にも匹敵するコスト競争力を誇り、ONEを支える重要な船となっています。



## 横浜に息づく 「信濃丸」の椅子

横浜の「山手資料館」とレトロでクラシックな雰囲気が漂う老舗レストラン「馬車道十番館」には、当社旗である「二引の旗」が彫られた椅子があります。この椅子は、当社船「信濃丸」のサロンで使用されていたもので、古き良き横浜を残そうとした「横浜史料保存会」が、「信濃丸」の廃船時に20脚あまりを入手しました。その後、同保存会のメンバーで山手資料館の設立者でもある本多正道氏が、レストランを開業する際12脚を譲り受けました。



背もたれ部分には、当社旗である「二引の旗」が彫られています

山手資料館では現在も、展示品・装飾品としてだけでなく、来館者が記念スタンプを押す時に座ることができます。横浜の風情を感じながら、歴史に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

### 「信濃丸」(1900年竣工)

日露戦争で仮装巡洋艦に改装された社船で、日本海海戦においてバルチック艦隊を発見し「敵艦見ユ」と打電して、日本艦隊を勝利に導いたことで有名な船です。日魯漁業(現・㈱ニチロ)の北洋蟹漁業運搬船、太平洋戦争中は軍の輸送船、戦後は復員輸送船となりました。



## 海事用語 AtoZ

本誌の中でご紹介した記事の中から、わかりにくい専門用語を解説します。

### 【国際海事機関】(こくさいかいじきかん)

3ページ

国際連合の専門機関の一つで、別名IMO (International Maritime Organization)。海運、船舶、船員に関する技術的な事項を審議し、海上安全と海洋環境保護のための国際条約を制定。近年は特に船舶の排出ガスに関するルールづくりに力を入れています。日本は海運・造船国として、IMOの中で強い発言力を有しています。

### 【LNG船】(えるえぬじーせん)

5ページ

マイナス162度という超低温の液化天然ガス(LNG)を専門に輸送する船舶。超低温でも強度が落ちない特殊な金属を使い、優れた断熱構造を持つタンカーで、貨物を運ぶ商船では最も高価です。乗組員にも高い能力が求められます。クリーンエネルギーのLNGは世界各地で需要が拡大し、それに伴いLNG船の数も増加しています。

### 【チャーターリング】(ちゃーたりんぐ)

9ページ

備船業務のこと。外航海運では、さまざまな国の船舶保有会社(船主)と船舶運航会社(オペレーター)などの間で船舶の貸し借り(備船)が頻繁に行われ、オペレーターは自社保有船と備船を組み合わせて貨物を輸送します。オペレーターの備船業務担当者は、相場の動向を見つつ、必要な船舶を備船市場で探し、船主や仲介業者と交渉して備船契約を結び、船舶を調達します。

### 【スクラバー】(すくらばー)

12ページ

排気ガス浄化装置のこと。IMOは、酸性雨などの原因となるSOx(硫黄酸化物)の船舶からの排出規制強化を決めました。排気ガス中のSOxを除去するスクラバーは、同規制の対応策の一つ。装置の搭載費用がかかりますが、硫黄分が高い重油を引き続き使用できる利点があります。2020年のSOx規制強化開始を前に、スクラバー搭載を決める海運会社が相次いでいます。

### 【自動運航船】(じどううんこうせん)

14ページ

自動車のように、船舶の分野でも自動運転や遠隔操縦の研究が行われています。漁船を含む多くの船舶が往来する海域での自動運転は、道路上しか走らない自動車よりも難しいといわれています。当社は自動操船の実用化の研究に注力していますが、これは「無人化」を前提としたものではなく、自動航行の要素技術を応用し、より高度な安全運航や乗組員の作業負荷軽減を目指しています。

- **Ⅰ Xmas 横浜ワンナイトクルーズA**  
2018年12月9日(日) 横浜発～10日(日) 横浜着 旅行代金 45,000～223,000円
- **Ⅰ Xmas グループサウンズ クルーズ**  
2018年12月10日(日) 横浜発～12日(日) 神戸着 旅行代金 104,000～524,000円
- **Ⅰ Xmas 神戸ワンナイトクルーズ**  
2018年12月12日(日) 神戸発～13日(日) 神戸着 旅行代金 45,000～223,000円
- **Ⅰ 神戸スペシャルクリスマス ON ASUKAⅡ**  
2018年12月13日(日) 神戸発～15日(日) 神戸着 旅行代金 98,000～524,000円
- **Ⅰ Xmas 神戸・名古屋ワンナイトクルーズ**  
2018年12月15日(日) 神戸発～16日(日) 名古屋着 旅行代金 52,000～262,000円
- **Ⅰ Xmas 名古屋ワンナイトクルーズ**  
2018年12月16日(日) 名古屋発～17日(日) 名古屋着 旅行代金 47,000～236,000円
- **Ⅰ 横浜スペシャルクリスマス ON ASUKAⅡ**  
2018年12月18日(日) 横浜発～20日(日) 横浜着 旅行代金 98,000～524,000円
- **Ⅰ 冬の駿河 クリスマスクルーズ**  
2018年12月20日(日) 横浜発～22日(日) 横浜着 旅行代金 84,000～420,000円
- **Ⅰ Xmas 横浜ワンナイトクルーズB**  
2018年12月22日(日) 横浜発～23日(日) 横浜着 旅行代金 55,000～276,000円
- **Ⅰ Xmas 横浜ワンナイトクルーズC**  
2018年12月23日(日) 横浜発～24日(日) 横浜着 旅行代金 55,000～276,000円
- **Ⅰ クリスマスイブ 横浜ワンナイトクルーズ**  
2018年12月24日(日) 横浜発～25日(日) 横浜着 旅行代金 47,000～236,000円
- **Ⅰ ニューイヤークラムクルーズ**  
2018年12月28日(日) 横浜発～2019年1月6日(日) 横浜着 旅行代金 498,000～2,476,000円
- **Ⅰ 新春の横浜・神戸ワンナイトクルーズ**  
2019年1月7日(日) 横浜発～8日(日) 神戸着 旅行代金 47,000～236,000円
- **Ⅰ 神戸発 瀬戸内・九州 初春クルーズ**  
2019年1月8日(日) 神戸発～11日(日) 佐世保着 旅行代金 141,000～708,000円
- **Ⅰ 飛鳥IIのふるさと長崎・横浜クルーズ**  
2019年1月22日(日) 長崎発～24日(日) 横浜着 旅行代金 94,000～472,000円
- **Ⅰ 新春の伊勢クルーズ**  
2019年1月24日(日) 横浜発～26日(日) 横浜着 旅行代金 94,000～472,000円
- **Ⅰ ゴールデンウィーク サイパン・グアムクルーズ**  
2019年4月26日(日) 東京発～5月6日(日) 横浜着 旅行代金 520,000～2,620,000円

下記の各種キャンペーンや割引などが設定されています。

- = 連続乗船割引
- = シニア割引
- = 早期申込割引
- = 子供代金キャンペーン
- = Cスイート体験キャンペーン
- = スイートトリプルキャンペーン
- = バルコニー体験キャンペーン
- = ベビースイッチャールーム
- = グループ割引10% ※

※グループ割引10%を適用の場合、株主優待割引はご利用いただけません。ご了承ください。  
その他のコース、割引などの詳細は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ



郵船クルーズ株式会社

TEL 045-640-5301  
FAX 045-640-5366  
<https://www.asukacruise.co.jp/>

(営業時間 / 9:30～17:00 土・日・祝を除く)

## ワンナイトから楽しめる 飛鳥IIのクリスマス



船内イメージ

船内がより一層華やかで飛鳥IIのクリスマスクルーズ。2018年も、多彩なラインアップをご用意しています。気軽に参加いただける1泊2日のワンナイトクルーズや、ゲストエンターティナーの華麗なステージが見の2泊クルーズなど、お好みの日程や発着地からお選びいただけます。

船上では、飛鳥II総料理長によるスペシャルディナーや特別バージョンのプロダクションショーなど、クリスマス限定の催しでロマンチックなひとときを演出します。クリスマスツリーをはじめ、船内を華やかに彩るクリスマスのデコレーションもお楽しみください。

各クルーズにはお得に乗船いただける各種割引やキャンペーンがご用意されています。

\ plus /

## NYKと鉄のはなし

鉄はさまざまな製品や社会インフラの重要な素材で、その消費量・生産量は経済規模と密接に関係しています。中国の粗鋼生産量が2003年から10年でおよそ4倍に増加したのが典型例。当社は鉄の原料である鉄鉱石と石炭を、豪州やブラジルなどから大型船で運んでいます。



**日本郵船**